



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月6日

上場取引所 東

上場会社名 フロイント産業株式会社

コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伏島 巖

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 高波 裕二

TEL 03-5292-0240

四半期報告書提出予定日 平成28年1月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	13,081	8.9	727	24.3	784	17.6	422	25.5
27年2月期第3四半期	12,011	△3.3	585	△41.5	667	△36.2	336	△37.6

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 357百万円 (△9.1%) 27年2月期第3四半期 392百万円 (△50.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	48.98	—
27年2月期第3四半期	39.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年2月期第3四半期	17,313	—	11,087	—	64.0	1,285.90
27年2月期	17,277	—	11,180	—	63.6	1,274.37

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 11,087百万円 27年2月期 10,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年2月期の期末配当金内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	6.2	1,350	17.4	1,370	9.6	800	14.9	92.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年2月期3Q	9,200,000 株	27年2月期	9,200,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年2月期3Q	577,722 株	27年2月期	577,722 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期3Q	8,622,278 株	27年2月期3Q	8,622,285 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安を背景とした企業収益の改善により、景気の緩やかな回復基調が続いている一方で、中国経済を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクが懸念され、先行き不透明な状況で推移致しました。

当社グループの主要ユーザーであります医薬業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などにより、先進国を中心に成長が鈍化しており、新興国への市場移行やジェネリック医薬品の市場拡大が進んでおります。

こうした情勢のもと、当社グループは、独創的な新製品の開発や、顧客ニーズを捉えた営業活動を展開するとともに、積極的に新分野への展開を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高130億81百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益7億27百万円（同24.3%増）、経常利益7億84百万円（同17.6%増）、四半期純利益4億22百万円（同25.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、ジェネリック医薬品業界の旺盛な設備投資意欲により受注は好調に推移し、売上高は増加となりました。米国子会社FREUND-VECTOR CORPORATIONにおいては、業績拡大に向けた償却負担や研究開発費の増加もあり、また、国内における人件費の増加等により、営業利益は減少となりました。

この結果、売上高は86億63百万円（同21.2%増）、営業利益は5億78百万円（同5.5%減）となりました。

・化成品部門

化成品部門においては、栄養補助食品の売上高は、受注生産のため減少を余儀なくされましたが、医薬品添加剤、食品品質保持剤は堅調に推移しました。また、付加価値の高い自社製品の拡販と原価低減を推し進めた結果、営業利益は増加となりました。

この結果、売上高は44億17百万円（同9.1%減）、営業利益は4億4百万円（同25.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、173億13百万円となりました。増減の主な内訳は、現金及び預金が8億29百万円減少、有形固定資産が1億4百万円減少したものの、仕掛品が9億73百万円増加したことによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億28百万円増加し、62億25百万円となりました。増減の主な内訳は、前受金が4億35百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し、110億87百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成27年4月8日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(特定子会社以外の子会社の異動)

第1四半期連結会計期間よりFREUND INTERNATIONAL, LTD. は、FREUND-VECTOR CORPORATIONを存続会社とする吸収合併を行ったことにより、連結の範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間を基に算定した単一の割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が4,112千円増加し、利益剰余金が2,782千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,870,566	4,040,693
受取手形及び売掛金	5,266,889	5,036,782
電子記録債権	5,578	203,987
商品及び製品	296,478	353,254
仕掛品	931,971	1,905,260
原材料及び貯蔵品	543,437	625,591
前払費用	120,830	109,313
繰延税金資産	256,424	250,762
その他	527,353	410,253
貸倒引当金	△37,370	△37,187
流動資産合計	12,782,160	12,898,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,084,608	1,248,792
土地	1,330,712	1,330,602
その他(純額)	988,415	719,944
有形固定資産合計	3,403,736	3,299,340
無形固定資産		
のれん	—	81,007
その他	146,911	116,680
無形固定資産合計	146,911	197,688
投資その他の資産		
繰延税金資産	137,768	138,932
その他	812,272	783,903
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	944,640	917,436
固定資産合計	4,495,288	4,414,464
資産合計	17,277,448	17,313,176
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,833,333	1,970,816
電子記録債務	953,608	1,005,632
未払法人税等	332,544	132,433
前受金	1,242,586	1,678,048
賞与引当金	233,683	135,115
役員賞与引当金	59,000	54,000
資産除去債務	—	19,199
その他	772,480	627,595
流動負債合計	5,427,236	5,622,840
固定負債		
退職給付に係る負債	187,425	182,101
負ののれん	18,862	13,016
資産除去債務	15,555	4,196
その他	448,129	403,622
固定負債合計	669,973	602,936
負債合計	6,097,209	6,225,777

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,280,522	1,280,522
利益剰余金	8,816,001	8,976,894
自己株式	△201,313	△201,313
株主資本合計	10,930,810	11,091,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,183	42,854
為替換算調整勘定	34,187	△36,398
退職給付に係る調整累計額	△11,208	△10,760
その他の包括利益累計額合計	57,162	△4,304
少数株主持分	192,266	—
純資産合計	11,180,239	11,087,398
負債純資産合計	17,277,448	17,313,176

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	12,011,091	13,081,701
売上原価	8,266,405	8,931,450
売上総利益	3,744,685	4,150,250
販売費及び一般管理費	3,159,614	3,423,091
営業利益	585,070	727,159
営業外収益		
受取利息	688	972
受取技術料	11,193	12,246
保険解約返戻金	13,570	17,238
為替差益	38,890	5,614
負ののれん償却額	5,845	5,845
その他	18,441	18,479
営業外収益合計	88,631	60,397
営業外費用		
支払利息	3,550	2,951
貸倒引当金繰入額	1,725	—
その他	1,126	179
営業外費用合計	6,402	3,131
経常利益	667,299	784,425
特別利益		
固定資産売却益	5,716	904
特別利益合計	5,716	904
特別損失		
固定資産売却損	375	—
固定資産除却損	2,351	3,236
ゴルフ会員権評価損	475	—
投資有価証券評価損	1,750	—
減損損失	—	22,338
特別損失合計	4,952	25,575
税金等調整前四半期純利益	668,063	759,755
法人税等	321,604	344,187
少数株主損益調整前四半期純利益	346,458	415,567
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,803	△6,776
四半期純利益	336,655	422,344

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	346,458	415,567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,262	8,671
為替換算調整勘定	37,007	△67,637
退職給付に係る調整額	—	447
その他の包括利益合計	46,269	△58,518
四半期包括利益	392,728	357,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,789	360,877
少数株主に係る四半期包括利益	15,939	△3,828

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,149,049	4,862,041	12,011,091	—	12,011,091
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,149,049	4,862,041	12,011,091	—	12,011,091
セグメント利益	612,081	322,147	934,228	△349,158	585,070

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△349,158千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
9,287,518	1,108,012	266,178	1,349,382	12,011,091

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 欧州 ……フランス、英国等
- (3) その他 ……中南米、アジア等

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,663,751	4,417,949	13,081,701	—	13,081,701
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,663,751	4,417,949	13,081,701	—	13,081,701
セグメント利益	578,302	404,851	983,153	△255,994	727,159

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△255,994千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失計上額は、22,338千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

機械部門において、当第3四半期連結累計期間にFREUND-VECTOR CORPORATIONの株式を少数株主より取得し、完全子会社化したことにより、のれんが88,362千円発生しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
9,632,372	1,337,285	676,048	686,238	749,756	13,081,701

(単位：千円)

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度末より、管理区分の見直しに伴い、従来の「その他」を「中南米」および「その他」に分割しております。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

5. 補足情報

●受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	9,215,033	112.2	9,671,499	105.0
化成品部門	1,593,880	83.2	1,612,827	101.2
合計	10,808,913	106.7	11,284,326	104.4

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	7,225,808	117.6	7,976,130	110.4
化成品部門	293,836	54.0	376,639	128.2
合計	7,519,645	112.4	8,352,770	111.1

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	7,149,049	59.5	8,663,751	66.2
化成品部門	4,862,041	40.5	4,417,949	33.8
合計	12,011,091	100.0	13,081,701	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。